

地元小学生が市野新田ダム工事を見学

柏崎周辺農業水利事業所

平成 27 年 10 月 28 日（水）、新潟県柏崎市立剣野小学校 4 年生児童 57 名と教員 2 名が市野新田ダムの建設工事を見学に訪れました。剣野小学校は鶴川の下流域にあり、社会見学の一環として上流域で建設している市野新田ダムの役割を学ぶために来ました。



①ダムの概要を説明

右岸天端にある休憩所内で水の必要性、ダムの働き、造り方、市野新田ダムの概要についてクイズを交えながら説明しました。児童たちに日本全国の水使用量の内訳（工業、生活、農業）で一番多いものについて質問をしたところ、55 名の児童が生活用水と答え、正解が農業用水だと分かると、室内でどよめきが起こるなど、クイズに積極的に取り組む姿がとても印象的でした。



②工事現場を見学

右岸天端にてダムの構造、盛立材料、現在の作業内容等を説明し、グラウチング作業の見学をしました。天端に張ったスロープから下のグラウチング作業現場を覗き込みながら、「機械は何台動いているのですか」、「作業員は何人いるのですか」、「作業員は交代で勤務しているのですか」などと興味津々に質問しており、ダム工事に対する関心の高さが伝わってきました。



③盛立のデモンストレーション見学・重機の試乗

ブレンドヤードにて重ダンプ、ブルドーザー、振動ローラーによるロック材の運搬、敷き均し、締め固めの作業を実演し、重機の試乗もしてもらいました。振動ローラーが振動し始めると、作業を見学していた児童の列から「おお！」と歓声が上がり、間近に迫る重機の迫力に興奮している様子でした。ダムの盛立作業の見学や、重機の試乗といった貴重な体験を通して、ダムへの理解がより深まったのではないかと考えています。

最後に児童から、グラウトをすることで水漏れを防ぐことができることに感動した等の感想も頂き、この見学会を通してダムの役割や造り方について理解してもらえたのではないかと思います。今後とも、当事業所が地域住民を対象として積極的に説明会を行うことで、事業に対する理解を深めてもらうきっかけになることを期待しています。